

声明、魚山声明

声明とは仏教音楽の一つです。声明はインドから始まって、中国に伝わりました。中国の中でも声明が特にさかんに行われたのは山東省の魚山というところでした。

さてその声明を日本に伝えたのは、日本から中国へと留学した僧侶です。日本から中国に留学した僧侶には、天台宗の開祖である最澄や、彼の弟子であった慈覚大師円仁などがいます。円仁は山東省で学び、中国で行われていたすぐれた声明を日本へと持ち帰りました。

とはいえ、当時の日本ではまだ仏教はそこまで幅広く広がっていたわけではありませんでした。そのため初期の声明は、寺院の中で僧侶が唱えるものであり、一般には広く知られていませんでした。しかし 10 世紀の終わりに行われた延暦寺の根本中堂の落慶法要（落慶法要：寺院の完成を祝う行事）や、12 世紀の終わりに行われた奈良の東大寺の落慶法要などでは、100 人もの僧侶があつまって一斉に声明を唱えるという儀式が行われました。こうした行事をきっかけとして、声明は広まっていきます。

大原はとりわけ声明が盛んな土地として知られ、山東省の魚山と同じ「魚山」を山号に冠することになりました。大原の三千院の北には「律川」、南には「呂川」という川が流れていますが、この名前も声明からきています。声明では、ゆったりとした中国風の曲は「呂曲 rokyoku」、テンポの速い日本風の曲は「律曲 ritsukyoku」と呼ばれます。その名の通り、「呂川」の川の流れはゆったりとした流れで、「律川」は速い流れなのです。